

iDoors[®] Central

【アイドアーズ セントラル】



Webブラウザで簡単に操作

リーダーやコントローラーは全てLANで接続します。個々の機器にIPアドレスを設定でき、Webブラウザから簡単に操作できることが、最大の特徴となっています。



＜使いやすさ＞…誰でも簡単、ワンタッチ開錠

非接触型ICカード「FeliCa」・「MIFARE」にも対応

ケータイをかざすだけで解錠できます。さらに非接触型のFeliCaカードを使えばお財布や定期入れ、ネームプレートに入れたまま、近づけるだけでOK。手に荷物がはいはいでも片手で簡単に解錠できます。

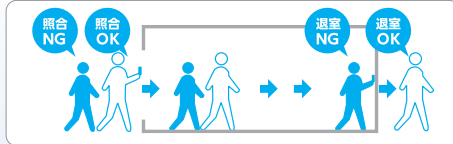
オートロックでかけ忘れの心配なし

ドアが閉まると自動的にロックされるので「うっかりかけ忘れ」の心配がありません。また、すぐに施錠したくない時、例えば荷物を連続して運ぶ際にはWeb画面上から常時解錠状態にすることができます。

＜セキュリティ＞…あらゆる危険に備えた万全の安全対策

アンチパニック機能対応

アンチパニック機能にも対応しており、共連れ防止で厳密な入退室管理や各ドアに対してセキュリティ性を向上させることも可能です。



アラーム機能で不正をシャットアウト

鍵が閉まっている状態でドアが不正開錠された時、または破壊された時は強力な警報音が鳴ります。



あらゆる異常をキャッチし、アラームで通報

開放時間超過、こじ開け、施錠異常などを感知すると、瞬時にアラームが鳴り出します。

国際規格に対応した安全性

ICカードはクレジットカードなどに使用される国際規格 (ISO) に対応した高い安全性を確保。もちろん、カードキーをコピーすることはできません。

不正利用検知機能で管理者にメール通知

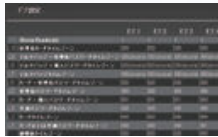
iDoors ReaderまたはiDoors Controllerは、様々なイベントに対して、重要度別にメール送信が可能です。最大4件までアラートメールが送信可能です。



＜簡単設定＞…時間、エリアにあわせた設定も自在！

iDoors[®] Central では様々な認証方法でドアの解錠が可能

携帯電話、FeliCaカード、MIFAREカード等に対応しており、カード認証以外でもパスワードにてドアの解錠が可能です。複数人が連続して認証することでドアを解錠できるマルチパス機能や、カードとパスワードの複合認証といった様々な認証に対応しています。



グループ管理や入室可能時間設定にも柔軟に対応

各ドアに、この時間にこのグループだけが解錠可能といった設定が可能となります。コントローラーを利用することで、最大8ドアまで設定が可能です。例えば危険物保管室は有資格者、重要書類保管室は登録者、女子ロッカー室は女性のみというように所属や役職、性別などに応じて、グループ作成が可能であり、そのドアに対してのアクセス可否を決めることができます。



遠隔地よりドア解錠が可能

個々の機器にIPアドレスが設定が可能となす。管理者が遠隔地に居ても、ドアの解錠が可能です。例えば休日出勤した社員がケータイやパスワードも忘れてしまった場合でも、管理者がWebからアクセスし、鍵を開けることができます。



※管理者がWebブラウザを参照する必要があります。

＜カード＞…簡単操作で紛失時の対応もスムーズ

暗証番号の登録、変更は簡単！

暗証番号は4桁から8桁で設定。操作はシンプル、スピーディにできます。

ケータイとFeliCaカードは 20,000件まで登録可能

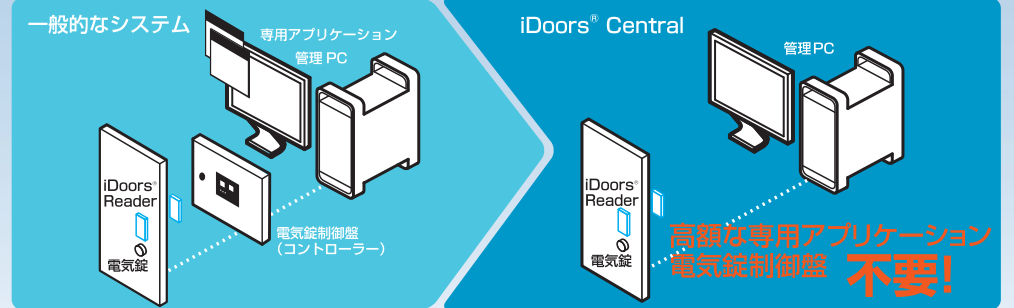
ケータイとFeliCaカードで最大20,000件までの登録が可能です。膨大なデータパターンがあるので、誰かのカードキーと一緒にすることはありません。

紛失しても心配ありません

カードキーをなくしてしまった場合はカードキーを再登録。その瞬間からなくしたキーは使えなくなります。登録作業は簡単、スピーディ。「誰かが拾って使ったら…」という心配もありません。

■ 他社に比べてこんなにもお得

高額な専用アプリケーション、電気錠制御盤が不要!! 大幅なコストが削減



- Point 1** カードリーダーが中心。リーダー本体にユーザー情報を記録し直接電気錠を制御します。
- Point 2** カードリーダーと管理PCとの通信はEthernet。ローカルネットワーク内に接続するだけでOKです。
- Point 3** 専用制御盤不要のスタンドアロンタイプなので、単独運用の場合は設置数の制限無い為、増設が容易です。
- Point 4** PCと接続し入退室の記録を管理します。Webインターフェースで専用アプリケーション不要です。

■ 構築事例

<Aタイプ>…個人事務所やアトリエに

ドアの外側にのみリーダーを設置したスタンドアロンタイプ。リーダーをネットワークでつなぎ、入室情報を管理します。

<Cタイプ>…アンチパニック機能でオフィスやテナントに

外側と内側にリーダーをつけた複数のドアをネットワークでつないだタイプ。それぞれの入退室情報を一括管理します。正面玄関から入って、裏口のドアから退出した場合でも、エラーは起こりません。iDoors Controllerは1ドア(2リーダー)から、最大8ドア(16リーダー)を管理することができます。同じ認証番号で2回続けて入室、または退室できないよう、その整合性を探知・規制するアンチパニックシステムにより、入退室情報をより厳格に管理することができます。

<Dタイプ>…場所の離れた拠点がある中規模以上の企業に

各拠点に設置したiDoors Controllerを束ね、集中管理するソフトウェア iDoors Webを使用することで、場所が離れた拠点間の情報をネットワーク化します。距離が離れていてもすべての情報を集約し、管理することができます。例えば…

- 本社が東京、支社が地方都市に点在する大企業。
- フランチャイズなど複数の店舗を管理する大手量販店や外食チェーンなど